

(款) 55教育費 (項) 15中学校費 (目) 15学校建設費

◎中学校施設整備の経費

中学校施設整備事業

【 学校施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

学校教育:子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

【事業の目的】

対象 市立中学校

意図 安全で良好な教育環境を確保するため。

効果 生徒たちが安全・安心な状態で教育を受けられる環境を整える。

【事業の内容】

(1) 中学校施設整備事業

- ・第二中学校の改築に向けた実施設計を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

学校施設の改築(第二中学校)(4-2-4-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
348,748	493,001	488,681		4,320
主な支出内訳				
・ 中学校施設整備事業				
第二中学校	改築検討協議会委員謝礼			26
第二中学校	校舎耐力度調査委託料			6,195
第二中学校	実施設計委託料			53,025
第二中学校	改築工事家屋事前調査委託料			1,186
岩瀬中学校	学校用地購入費			428,249
主な特定財源				
・ 地方債				
				401,100

事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 教総-14 中学校施設整備事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1180	中学校改築事業				
主管課	学校施設課		関連課				
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	市立中学校9校の良好な教育環境を確保します。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯	・学校基本調査		
	生 徒 数	2,940人	2,863人	2,797人	(各年5月1日)		
運営資源 状 況	決算値	488,681千円	22,648千円	12,471千円	20年度人件費 8,819,250円		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	488,681千円	22,648千円	12,471千円			
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.2人			
	人 件 費	1,764千円	1,783千円	1,813千円			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	490,445千円	24,431千円	14,284千円			
	市民1人当 りの経費	2,779円	139円	82円			
	対象者1人 当りの経費	166,818円	8,533円	5,107円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価	
第二中学校改築実施設計	53,025	第二中学校の改築に向けた実施設計業務を実施			④	① 必要性なし	
岩瀬中学校用地の取得	428,249	岩瀬中学校用地の取得を実施			④	② 民間	
						③ 国・県	
						④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
数値指標なし		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・第二中学校改築事業は、当該地の地理的要件、法令上の規制等により問題が山積している。17年度に立ち上げた改築検討協議会において、さまざまな視点からの意見を調整し、スケジュールどおり18年度中に改築基本計画をまとめることが大きな課題となった。これらを踏まえて19年度中に改築基本設計を実施することができた。この基本設計をもとに、平成20年度には実施設計を、まとめるにあたり、建物の高さについては、規制と機能の兼ね合いについて、引き続き検討と調整が必要であった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(上記課題・問題点についてどのような創意工夫、改善(対応)をしましたか) ・改築検討協議会においてまとめられた「基本計画」を行政計画とするため、広く市民から意見を募集し市教育委員会としての考え方を公表するといった手続きも済ませ、「鎌倉市立第二中学校改築基本計画」を策定した。引き続き平成19年度に関係各課と検討・調整し、20年3月に改築基本設計(案)を作成した。作成された基本設計(案)のうち、建物の高さについては、協議会・保護者・一般市民・町内会等に説明会を実施し、現計画書(案)どおりの同意と理解が得られたので、実施設計を実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・特段なし
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・特になし

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	第二中学校改築事業は年次計画どおり着実に事業を進めていきたい。また、大船中学校についても第二中学校改築完了後に速やかに改築事業に取りかかれるよう準備を進めていきたい。			
担当課長氏名:	学校施設課長 宮崎 順一			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	第二中学校改築事業については、節目ごとに議会、教育委員会、改築検討協議会へ報告し、また、広く市民からの意見を求めつつ、基本設計・実施設計の内容を踏まえ、確実な事業の進展を期したい。また、大船中学校に関しても、事業手法等の検討を進め、改築事業を進めたい。さらに、市議会でも再三取り上げられている、管理諸室へのエアコンの設置についても、早急を実現させたい。			
担当部名	教育総務部	部長名	宮田 茂昭	